

# I 平成21年度事業計画書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

指定管理者制度が初めて導入された平成18年度からの3年間、当財団は公共劇場の使命を明確化するとともに、芸術性、採算性、地域社会性を同時に達成すべく、財団改革を進めてきた。蜷川幸雄芸術監督を迎え、「さいたまゴールド・シアター」という全国でも例のない演劇集団を発足させ、新たな演劇の世界を提案するとともに、財団経営面でも収支比率の大幅な改善など成果を上げることができた。

そして、このような実績を評価いただき、再び平成21年度からの3年間、彩の国さいたま芸術劇場、埼玉会館及び熊谷会館の指定管理者として指定を受けることができた。

本指定期間においては、これまでに培った実績と経験を礎にさらなる発展的な取組を行うとともに、厳しい経済環境の中で暗たんとする人々の心に恵沢をもたらす芸術文化の意義を再認識し、次の目標を掲げ事業に取り組んでいく。

## (1) 埼玉から芸術文化の創造と発信

「さいたまゴールド・シアター」をはじめとする埼玉ならではの取組を行い、埼玉から新たな芸術文化の創造、発信を行っていく。

## (2) 「新しい公の役割」への挑戦

作品の制作過程を通じて若手人材の育成に取り組むほか、人々の心に恵沢をもたらす感動体験や本物体験を様々な形で提供していくなど、公共劇場が果たすべき役割に積極的に取り組んでいく。

## (3) 地域の核として賑わいの創出

各施設で地域の特性に合ったプログラムを行うとともに、地域の方々と連携した取組を行うことで、地域の核として賑わいを創出していく。

また、財団経営にあたっては、引き続き芸術性を追求しながらも効率性を確保した経営を行っていくとともに、新公益法人制度に向けた体制への移行準備を進めていく。

なお、平成21年度は、彩の国さいたま芸術劇場の開館15周年にあたるため、それを記念するのにふさわしいラインナップを揃え提供していく。

## 1 一般会計

平成20年12月より関連法令が施行された新公益法人制度に向け、早期に新制度へ移行できるよう、理事会及び評議員会等において検討を進めていく。

## 2 文化振興事業特別会計

### (1) 文化振興事業（97事業）

平成21年は彩の国さいたま芸術劇場の開館15周年にあたるため、それにふさわしい事業を展開していく。

特に「彩の国シェイクスピア・シリーズ」では、大作「ヘンリー六世」3部作の一举上演に挑む。また、埼玉会館では「世界のオザワ」指揮による新日本フィルハーモニー交響楽団の演奏会を実施する。

埼玉ならではの作品や最高の公演を提供することで、埼玉から舞台芸術の発信を行っていく。

### ア 彩の国さいたま芸術劇場（80事業）

#### (ア) 演劇部門

演劇部門においては、蜷川幸雄芸術監督演出の作品を軸に事業を展開していく。

まず「彩の国シェイクスピア・シリーズ」においては、第22弾として「ヘンリー六世」3部作を一本化して一举に上演する。

また、55歳以上の演劇集団「さいたまゴールド・シアター」の第3回公演として、ケラリーノ・サンドロヴィッチの書き下ろしによる新作を上演する。

さらに、若手群像劇として高い評価を受けている福田善之作「真田風雲録」を舞台化する。キャストについては前年度のオーディションにより選考した若手を起用し、作品の創造過程を通じて若手俳優の育成を目指す。

事業名	実施予定時期	会場
「ムサシ」	4月	大ホール
さいたまゴールド・シアター 第3回公演	6月	小ホール
「真田風雲録」	10月	大ホール
彩の国シェイクスピア・シリーズ第22弾「ヘンリー六世」	3月	大ホール

事業名	実施予定時期	会場
埼玉県高等学校演劇連盟中央発表会	11月	大ホール
さいたまゴールド・シアター Process	未定	大けいこ場

#### (イ) 舞踊部門

海外からは、埼玉でしか見られないヤン・ファールルの新作「寛容のオルギア」、ローザスの「ツァイトウング」、及び池田扶美代、ベンヤミン・ヴォルドンク、アラン・プラテルによる「ナイン・フィンガー」を招聘する。

この他、2009年が結成100年に当たるバレエ・リュスの活動を写真、パネル、舞台模型などを展示し紹介する。

一方、国内からは、人気定着しているコンドルズの「埼玉スペシャル公演2009」を提供するほか、日本の次世代を担うダンサー、若手振付家3組によるトリプル・ビルを「dance today 2009」と銘打って、当劇場で制作、上演する。

また、ローザスの公演に併せカンパニーの振付家、ダンサーによるワークショップを実施し、若いダンサーが世界的なダンスカンパニーのダンサー、振付家等の指導に触れる機会を提供する。

事業名	実施予定時期	会場
コンドルズ 埼玉スペシャル公演2009	5月	大ホール
ヤン・ファールル「寛容のオルギア」	6月	大ホール
バレエ・リュス展	8月～9月	ギャラリー他
日本昔ばなしのダンス 地方公演	9月～1月	—
dance today 2009 トリプル・ビル	9月	小ホール
ローザス「ツァイトウング」	11月	大ホール
池田+プラテル+ヴォルドンク「ナイン・フィンガー」	2月	大ホール
ダンス・ワークショップ	11月	大けいこ場他
ダンスセッション(県内団体との共催事業)	2月	大ホール他

#### (ウ) 音楽部門

世界屈指のアーティストや日本を代表するソリストによるリサイタル、室内楽や古楽器アンサンブルなど多彩なジャンルの公演を提供する。

また、日本の若手ピアニストの中で注目を集めている小菅優を中心とした3年間のシリーズを開始するとともに、若手の期待の星たちによる「ピアノ・エトワール・シリーズ」を引き続き実施することを通して若手の育成に資する。

一方、気軽に音楽に触れる機会を広く提供するため、情報プラザにおいてポジティブ・オルガンを活用した無料のミニ・コンサートを行う。なお、11月14日には県民の日と当劇場15周年を記念した企画として、当劇場の音楽ホールにおいて無料のスペシャル・コンサートを実施する。

さらに、地域の子供とその家族を対象とした無料のワークショップも実施し、クラシック・ファン層の拡大を図る。

この他、日本を代表する吹奏楽団のメンバーが高等学校の吹奏楽部員を直接指導するクリニックや、県内公立文化施設との共催にて小・中学校へ出張コンサート「MEET THE MUSIC～アーティストが学校にやってくる！」を行い、若い世代に本物の芸術に触れることのできる機会を提供する。

事業名	実施予定時期	会場
福井敬 テノール・リサイタル	4月	音楽ホール
光の庭プロムナード・コンサート	5月～2月	音楽ホール・情報プラザ
クリスチャン・ツイメルマン ピアノ・リサイタル	5月	音楽ホール
ピアノ・エトワール・シリーズ (Vol.9～Vol.12)	6月～2月	音楽ホール
バッハ・コレギウム・ジャパン ハンデル没後250年記念特別プログラム	7月	音楽ホール
小山実稚恵 ピアノ・リサイタル	10月	音楽ホール
村治佳織 ギター・リサイタル	10月	音楽ホール
レ・ヴァン・フランセ	12月	音楽ホール
彩の国さいたま芸術劇場アフタヌーン・クリスマス・コンサート	12月	音楽ホール
小菅優の現在 (Vol.1 トリオ)	3月	音楽ホール
みんなのオルガン講座	4月～2月	大練習室他
吹奏楽クリニック	12月	音楽ホール他
ピアノ・ワークショップ&彩の国さいたま芸術劇場ファミリー・コンサート	3月	大練習室他
MEET THE MUSIC～アーティストが学校にやってくる!	未定	県内小・中学校

(エ) その他

好評の「彩の国さいたま寄席」(年4回実施)及び、朗読と解説が併せて楽しめる「源氏語り五十四帖」(年6回実施)を引き続き実施する。特に秋の「彩の国さいたま寄席」では、当劇場で育った落語大賞受賞者の林家たい平がプロデュースする特別企画を実施する。

また、11月の「彩の国シネマスタジオ」を県民の日に併せて実施し、当劇場を訪れる県民が楽しい一日を過ごせるよう、親しみやすい作品を提供する。

その他、当劇場の認知度を高め、舞台芸術に関心を広げていただくため、蜷川幸雄芸術監督と各界のアーティストとの公開トーク・セッション「NINAGAWA千の目」を引き続き実施する。

さらに、埼玉県舞踊協会や埼玉県立芸術総合高等学校など県内文化団体等が実施する事業の支援を行うとともに、埼玉大学の大学講座への協力や、大学のインターンシップを積極的に受け入れていくなど、地域との連携を深めていく。

事業名	実施予定時期	会場
彩の国シネマスタジオ	4月~3月	映像ホール
蜷川幸雄公開対談シリーズ「NINAGAWA千の目」	4月~3月	映像ホール他
彩の国さいたま寄席	4月~12月	小ホール
源氏語り五十四帖(第49~54回)	5月~3月	小ホール
劇場体験ツアー	8月	大ホール他
県内高校生対象舞台技術講座	未定	小ホール
埼玉県立芸術総合高等学校舞台技術講習会	未定	小ホール
県内公立文化施設職員舞台技術講習会	未定	小ホール
埼玉大学アートマネジメント講座	4月~9月	埼玉大学他
大学生インターンシップ	未定	芸術劇場

イ 埼玉会館(8事業)

「世界のオザワ」として広く知られる小澤征爾指揮による新日本フィルハーモニー交響楽団やNHK交響楽団を迎え、ホールの特性を活かしたオーケストラ公演を引き続き実施する。

さらに、音楽への親しみや理解を深めるため、ニューイヤー・コンサートやわかりやすく楽しい親子向けのクラシック・コンサート、地元商店会などとも連携した平日昼間のランチタイム・コンサートを実施し、クラシック・ファン層の拡大を図るとともに、地域の活性化に寄与していく。

事業名	実施予定時期	会場
埼玉会館ランチタイム・コンサート	5月～10月	大ホール
準・メルクル指揮 佐藤俊介ヴァイオリン NHK交響楽団	6月	大ホール
埼玉会館ファミリー・クラシック 夏休みオーケストランド!	8月	大ホール
小澤征爾&新日本フィルハーモニー交響楽団 上原彩子ピアノ	12月	大ホール
埼玉会館ニューイヤー・コンサート	1月	大ホール
彩の国シネマスタジオ	4月	小ホール

#### ウ 熊谷会館（9事業）

熊谷地区の夏の恒例公演として定着している「松竹大歌舞伎」を実施する。

また、NHK「クインテット」に出演している宮川彬良を中心としたアンサンブル・ベガによる家族向けのコンサートを実施し、音楽を通して家族がふれあう機会を提供する。

さらに、好評のクラシックバレエ・セミナーを引き続き行うほか、「MEET THE MUSIC～アーティストに会いに行こう!」を当会館に地元の子供たちを招いて実施するなど、県北地域においても子供たちが本物の芸術に触れることのできる機会を提供する。

事業名	実施予定時期	会場
松竹大歌舞伎	7月	ホール
クラシックバレエ・セミナー	8月	ホール
熊谷会館ファミリー・コンサート 宮川彬良&アンサンブル・ベガ	5月	ホール
MEET THE MUSIC～アーティストが学校にやってくる!	未定	県北地域小・中学校
MEET THE MUSIC～アーティストに会いに行こう!	未定	ホール
彩の国シネマスタジオ	10月	ホール

## (2) 広報に関する事業

### ア 企画展示事業

彩の国さいたま芸術劇場内の情報プラザ、ギャラリーや埼玉会館展示室等を活用し、「彩の国シェイクスピア・シリーズ」や「バレエ・リュス展」など舞台芸術への関心を高めるための企画展示を開催する。

### イ 財団情報誌「埼玉アーツシアター通信」の発行

会員の方々に詳しく財団の主催する公演や活動内容を紹介するとともに、新たな会員の拡大とチケットの販売促進に効果を上げることを目的に、情報誌を発行する。

(ア) 発行回数、部数 年6回 各13,000部発行

(イ) 配布先 財団メンバーズ、サポーター会員、マスコミ、プレイガイド、県内文化施設など

### ウ 彩の国さいたま芸術劇場15周年記念誌の発行

当劇場の開館15周年を記念し、財団主催事業の足跡などをまとめた記念誌を発行する。

### エ メンバーズ事業

会員に財団情報誌「埼玉アーツシアター通信」を送付するほか、主催事業のチケットの優先予約や割引販売などを行うことにより、顧客の定着化とチケットの販売促進を図る。

メンバーズ会員数 7,118人(平成21年2月末現在)

### オ サポーター会員制度の運営

財団の活動に対し財政面で支援いただく法人等の会員組織「サポーター会員」の運営を行うとともに、会員の拡大を図る。

サポーター会員数 90社(平成21年2月末現在)

### 3 施設管理事業特別会計

施設管理事業においては、利用者の立場に立ちサービスの向上に努めるとともに、施設の適正な維持管理を行っていく。特に利用者サービスにおいては、財団ホームページから、各施設の会議室やけいこ場・練習室の利用申込が可能となるシステムを3館共同で構築していく。

#### (1) 彩の国さいたま芸術劇場施設管理事業

施設の適正な管理を行うとともに、ホール、けいこ場、練習室等が十分に活用されるよう利用者サービスの向上に努める。また、リピーターへのキャンセル情報の提供など積極的な働き掛けを行い、利用率の向上に努める。

併せて、舞台芸術への関心を広げる場、調査研究の場として、舞台芸術資料室の利用促進を図っていく。

#### (2) 埼玉会館施設管理事業

施設の適正な管理を行うとともに、ホール、会議室、展示室等が十分に活用されるよう利用者サービスの向上に努める。また、利用促進のために地元への営業活動を行うほか、施設の空き情報の提供等を行い、利用率の向上に努める。

#### (3) 熊谷会館施設管理事業

施設の適正な管理を行うとともに、ホール、会議室等が十分に活用されるよう民間のプロモーターや地元の学校等へ営業活動を行う。また、ホールの舞台面のみを稽古、練習用に利用できる新たなサービスを導入し、利用率の向上に努める。